

社外取締役の新時代

- 会社側が構築できるサポート体制と環境 -

経済産業省は、コーポレートガバナンス改革を、形式から実質へと深化させるために、社外取締役としての役割や心構え、具体的な取り組みや会社側のサポート体制などのベストプラクティスについて議論し、「社外取締役の在り方に関する実務指針」を2020年7月に策定・公表しました。コーポレートガバナンス改革の中核を担う社外取締役がより実質的な役割を果たし、機能を発揮することが重要である旨が示されています。

本セミナーでは、経済産業省 産業組織課長 安藤元太氏より本指針の概要を解説いただきます。パネルディスカッションでは本指針策定にも企業側代表として深く関与された経営者で、東芝などの社外取締役も歴任された、三菱ケミカルホールディングス取締役会長 小林喜光氏を特別ゲストにお招きし、意見交換させていただきます。

企業の状況は様々かと存じますが、経営者層の皆様にとって本セミナーが少しでもご参考になりますと幸いです。

収録日

2020年12月16日（水） *60分程度

プログラム

オープニング	渡辺 章博 GCA(株) 代表取締役
指針の解説	「社外取締役の在り方に関する実務指針について」 安藤 元太 氏 経済産業省 経済産業政策局 産業組織課長
パネル ディスカッション	「社外取締役がより実質的な役割を果たすには」 小林 喜光 氏 (株)三菱ケミカルホールディングス 取締役会長 安藤 元太 氏 采 孟 氏 (株)ソラスト 社外取締役 (第一三共(株) 前 取締役専務執行役員) 渡辺 章博 (モデレーター)
ラップアップ	渡辺 章博

登壇者のご紹介



小林 喜光 氏
(株)三菱ケミカルホールディングス
取締役会長

1971年 東京大学大学院理学系研究科相関理化学修士課程修了後、ヘブライ大学、ピサ大学への留学を経て、1974年 三菱化成工業(現:三菱ケミカル)入社。

2007年に三菱ケミカルホールディングス社長。2015年より現職。2015年から2019年まで経済同友会代表幹事。

現在、規制改革推進会議議長、総合科学技術・イノベーション会議などの公職も務める。

これまで、ジャパンディスプレイ、東京電力、東芝、現在のみずほフィナンシャルグループにて社外取締役を務める。理学博士。



安藤 元太 氏
経済産業省
経済産業政策局 産業組織課長

2004年から経済産業省に勤務し、経済産業政策局、製造産業局、大臣官房総務課を経て、米コロロンビア大学国際公共政策大学院修了。2012年から資源エネルギー庁及び電力・ガス取引監視等委員会事務局で電力自由化や発送電分離など電力システム改革を担当。2016年から産業組織課で、コーポレート・ガバナンス、事業再編関係の税制改正（スピントフや株式対価M&A）、役員報酬税制などを担当。その後、大臣官房秘書課を経て2020年7月から産業組織課長。



采 孟 氏
(株)ソラスト 社外取締役
(第一三共(株) 前 取締役専務執行役員)

1970年 北海道大学獣医学部卒、第一製薬(現:第一三共)入社。感染症・抗菌剤の研究開発に従事。獣医学博士(1977年)。ミシガン州立大客員研究員、米国第一製薬社長を経て、第一製薬代表取締役専務。第一三共取締役・専務執行役員。経営戦略、事業開発を歴任、インド製薬企業Ranbaxy (現 Sun Pharma) 取締役会議長 現任：株式会社ソラスト社外取締役ほか

お問合せ先:

GCA株式会社セミナー事務局 (担当: 中島)
TEL : 03-6212-7388 E-mail : forum@gcakk.com